
恋愛勝者～男性ver.～

な ぁ こ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋愛勝者（男性ver.）

【Nコード】

N1399B

【作者名】

なあこ

【あらすじ】

仕事のできる男。友達の沢山いる男。だけど、女ってもんがよくわからない。何を求めているのか？何でそこで不機嫌になるのか？何を話せばいいのか？…ここで女と一緒に解剖していきませんか。

第一話

恋愛って理屈じゃない。
感覚だ、と私は思う。

どんなに頭脳明晰な人でも
異性を簡単には操れない。

いつの時代にも恋愛に翻弄される人ばかりだ。

『女心がわからない』

『口下手でうまく話せない』

『どこを気遣えばいいのかわからない』

など、女を知りたいあなたにぜひ読んでほしい。

女って

単純なんだから。

今回は

『そんなに親しくない人と2人で初めて会う』編ね。

2人で会うからってあなたに気が必ずしもあるわけじゃないの。
あなたに気がある場合もあるし、

暇だからってのもあるし、

とりあえずご馳走になりたいってのもあるし、
彼氏と別れたばっかで寂しいってのもあるし。

ただ言えることは、女も『あなたと楽しみたい』の。

つまり、その女性も気合いは入れてくるはず。

この時点で気持ちの温度差が仮にあったとしても大丈夫。
あなたと彼女は『対等』です。

ここから実践編。

女って誰でも“姫”願望があるの。
だから“姫”願望を満たしてあげればいいんです。

具体的に言うと、

- ・レストランでは奥の席に誘導する
- ・飲み物の2杯目は男性からすすめる
- ・彼女の体を隅々まで見ない
- （足、胸元は見られてるとすぐわかるんです）
- ・会計時は女が財布出す前にさっと支払う事
- （これってすごいデリケートな問題なんだけど気のある女性には最初のデートではご馳走してあげてください）
- ・女性を道路側に寄せない
- （車が危ないもんね）

ここら辺はおそらく大体の男性が頭に入れてる事項だと思うわ。

じゃあ、次に会話ね。

お互い緊張してたら話題がとにかかないよね。
事前にこれを話そうって考えるのもありだけど、それって不自然になりがち。

だからね。

周りをもっと見てみて。

なんてことない事ないけど話題なんていっぱい転がってるのよ。

不思議に思った事をとりあえず言えばいいの。

『あのお店って何であんな名前なんだろうね？』

とか言つときゃ、話は弾んでくって。

本当に口下手な人なんていないの。

ただ緊張が邪魔してるだけなのよ。

スマートに見せる必要なんてなし。

逆にそれがかっこ悪く見えたりするもんよ。

最後に、

自分に気があるかどうか。

隣同士で歩いてて相手の顔をのぞきこむように見てみて。

・照れ or 見つめ返す↓OK

・見ない↓残念ね。

でも、照れて俯いちゃったりとかなら大丈夫よ。

ただ注意しなきゃなのが、男慣れしてる女の子。

興味なくても熱い視線を飛ばすなんて朝メシ前だからね。

だけど、そんな女の子に翻弄されるのもたまにはいいんじゃない？

…っと、かなり無責任発言ね。ごめんね。

あと、鞆をあなた側に持ってたらまだ警戒心が抜けてないわよ。
彼女自身意識してなくてもね。

でもよく考えたらそれくらいしつかりした女性ってこと。

あなたの見る目は正しいってことね。

それとね。

“余裕”“誠意”をもって接してください。

雰囲気が出るから。それだけでセクシーです。
かっこいい。

寒くなってく季節。

寄り添うカップルはもっと多くなってくはず。

あなたにも温かい気持ちになってもらいたいな。

第一話（後書き）

書きながら「こんなんじゃない参考にもならーん!!」と一人悶々としてました。第二話は具体例を挙げて書いていこうかと思ってます。そこで、「今こんな状況なんだけど…」っていう方がいたら教えてください。お願いします★

第二話

早速ですが第二話にいきたいと思います。

だって、

もう冬だしクリスマスもどんどん近づいてくる。

ってことは、恋愛したい気持ちも高まってくるんじゃないかと思っ
てね。

今回は

『モテ男の定義』

「か、かわいいー」と思って

そばにいる女性に聞いたら「えー」って言われた事ありませんか？

そうなのよね。

男性と女性では（当たり前だけど）魅力的と思うツボが違うみたい
ね。

だから、

自分ではいいと思ってても私たち女からしたら

「それはない」

と、心の中で密かに舌打ちし

あっさりバイバイ、なんてこともあるのだ。

女ってシビア。

でも、

それでも、

女って単純なものなのよ。

最初に言っとくね。

男って外見関係ありません。

第一印象を決めるのは顔じゃなくて

“あなたの持つてる雰囲気”

女はそこを見えています。

“雰囲気”とは何ぞやとは、

最後まで読んであなた自身で答えを見つけてください（放棄）。

そーだね。

今回は『モテる男の定義』でしたよね。

では、早速いってみましょう。

- ・「俺って」と何回も自慢話をしない

（女の関心度は薄れるばかりです）

- ・食べっぷりがいい、偏食家じゃない

（肌に出るよ）

- ・清潔である

（ある程度ね。要は不潔じゃなければいいんです）

- ・下を向いて歩かない

（胸を張って歩きましょう♪♪）

- ・声に深みがある

（低い声がいいんじゃないかって声に重みが欲しい）

・女性を意識しすぎない

（自意識過剰になってぎこちなくなっちゃうからね）

・女性を楽しませようという姿勢がみえる

（そんな気遣いが嬉しいの）

そして何より大事なのは

“目力”

一重でも二重でも目というものは本当に
その人自身を物語ります。

今すぐ鏡でチェックしてみて。

どんな目をしてる？

そして身近にいるモテ男の目を見てください。

その人に合った目をしてるはずだから。

意思のはっきりした目

優しい目

甘い目

その人の持つ雰囲気と合致してるはず。

そこから“かっこよさ”が生まれてくるんです。

モテ男って大体が自分に合うものを知ってるのよね。

なので、

「こーいう男になりたい」

っていう気持ちを持つことはとても大事だけど

自分がどんな男なのか、何が似合うのかイメージしてみてください。

きつと

違う自分が見えてくるはず。

たまには、女の人に

「何が似合うかな？」

って聞いてみるのもいいかも★

これがいっきかけになりますように…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1399b/>

恋愛勝者～男性ver.～

2010年10月15日22時25分発行